

令和7年1月14日
午後5時00分



広 報 資 料

今年初、上空より冬の使者『流氷』発見

第一管区海上保安本部 海氷情報センターでは、航空機による海氷観測を1月14日（火）に実施し、オホーツク海を南下中の流氷の一部が、網走の北方約85kmまで接近していることを確認しました。

1月7日に海氷速報を提供し始めた以降、航空機による目視観測で流氷を確認したのは今回が初めてです。

1 海氷観測の日時・方法

観測日時：令和7年1月14日（火）午後0時13分～午後1時11分

観測方法：千歳航空基地所属航空機（MA723、愛称：おおわし）による海氷目視観測

2 海氷分布状況



観測結果については別紙のとおりです。

オホーツク海を南下中の流氷は、網走の北方約85kmまで接近しています。

※海氷分布状況は、今後の風や海流の影響により大きく変化することもありますので、船舶で付近を航行する際には、十分に注意して頂くようお願いいたします。

3 データ提供について

海氷観測中の流氷などの画像（動画・静止画）をオンラインストレージサービスにより提供いたします。

4 Web ページによる情報提供

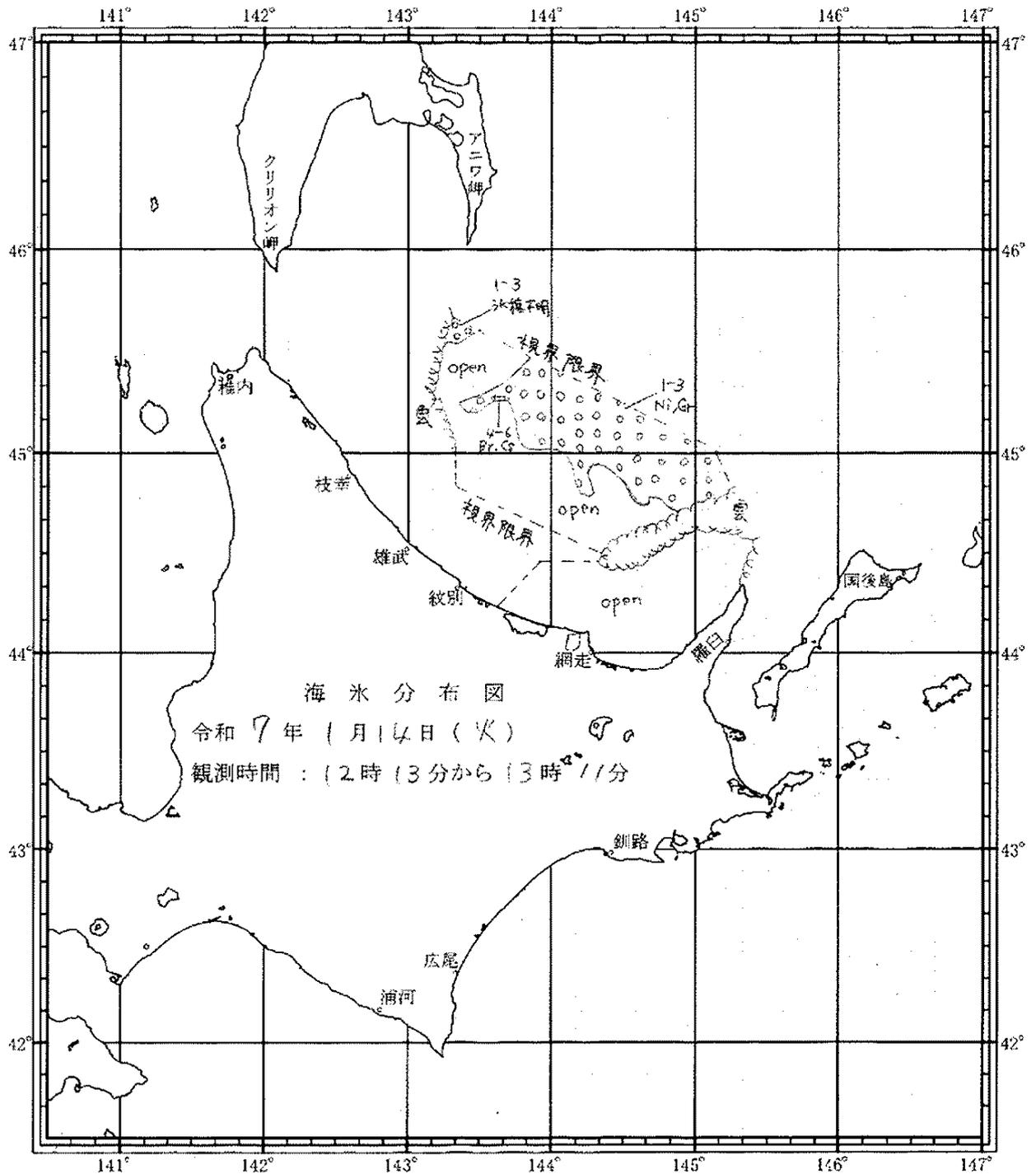
今回の航空機による海氷観測結果は別図のとおりです。

○海氷情報センターWeb ページ

URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html>



海水分布図



海水分布図
 令和7年1月14日(火)
 観測時間：(2時13分から13時11分)

海水観測報告

第一管区海上保安本部海洋情報部

海水の密接度		海水の種類	
	1-3	Gr	グリース・アイス
	4-6	Ni	ニラス
	7-8	Br	砕け氷
	9-10	Cs	小板氷